

長崎ラグビースクール新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

(令和2年5月26日作成)

(5月29日一部変更)

- 練習への参加は自由参加とし、参加を強要しない。感染のリスクが心配な場合は練習参加を控えるよう促す。
- 生徒、保護者、コーチは、練習参加前に体温を計測し、37度以上の熱及び咳、のどの痛み、嘔吐、下痢、味覚・臭覚障害等の症状がある場合には、練習場に来ることを控える。(見学も禁止)
- 生徒、保護者、コーチは、練習場に来たら健康チェック表を記入する。健康チェック表は、各学年で管理する。
- 感染が拡大している海外の国に滞在した場合は、帰国後2週間の経過観察期間が終了するまで練習参加を控える。
- 生徒を集めて説明する際や保護者が見学する際は、ソーシャルディスタンス(人との距離)をできるだけ2m(最低1m)取るように努める。
- 練習場では、できるだけマスクを着用する。ただし、生徒及びコーチは、熱中症のリスクを避けるためマスクを外して練習する。また、見学する際も、十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮してマスクを外す。
- 練習前、練習後には、必ず手洗い・うがいをする。コーチは、練習中であっても休憩時間を取り、頻繁に手洗い・うがいをするように促す。
- 練習中又は練習後に捕食等を取る場合は、必ず手洗い・うがいをする。
- 水分補給のためのボトル、汗を拭くタオル等は共有して使用しない。
- 人の顔に面と向かって大声を出さない。
- グラウンドに唾を吐かない。
- 体が密着するようなコンタクト練習、紅白戦については、ラグビー協会の通達等で指針が出されるまでは控える。

参考

高校生以下対象の7~8月の大会の延期・中止の判断について(日本ラグビー協会通達)

- 全国的大規模イベント等に相当する大会は中止・延期を継続(8月末まで)
- 地域での大会開催については、選手関係者の安全を最優先し、実施の可否について地域ごとに慎重に判断して実施または中止・延期

長崎市教育委員会発表

- 長崎市中総体を実施(7月25日~27日)
- 6月1日から県内に限り対外試合を許可(ただし、競技団体の指針に従う。)

長崎県教育委員会発表の部活動の取扱いについて(抜粋)

- 5月25日から県内に限り練習試合等を許可
- 身体接触のある活動、互いに近接する活動などにおいては、練習内容や方法に特段の配慮を行うこと。